危険なのはパソコンだけじゃない。

IoT機器にもセキュリティ対策を。

IoTとは、「Internet of Things」（モノのインターネット）の略です。

パソコンに限らず、様々な機器をインターネットにつなげてより便利に使えるようにするための仕組みです。

しかし、セキュリティ対策が不十分だと乗っ取りの被害に。

乗っ取られた場合、盗撮、他の企業への攻撃の踏み台、ウイルス拡散等に悪用される

危険性が。

狙われやすいIoT機器の例、ネットワークカメラ、ルーター、センサー。

今すぐチェック、IoT機器のセキュリティ対策。

IoT機器はセキュリティ対策が忘れられがちです。

被害防止のために、セキュリティ対策を確実に行いましょう。

初期パスワードは必ず変更する。

ファームウエア（注釈）は最新のものにアップデートする。

（注釈、ファームウエアは電子機器に組み込まれたシステムを制御するためのソフトウエアです。アップデートが自動で行われず、手動で行う必要がある機器もあり、注意が必要です。）

使わない機器はネットワークにつないだままにしない。

IoT機器をもっと安全に利用するために。

総務省及びNICTは、IoT機器のセキュリティ対策の案内や、サイバー攻撃に悪用されるおそれのあるIoT機器の利用者に、インターネットプロバイダと連携して注意喚起を行うなどの取組を実施しています。

詳しくはウェブサイトを参照「<https://notice.go.jp>」

その他サイバー犯罪対策に関する事は、大阪府警ホームページをご確認ください。

企業・組織等に向けたサイバーセキュリティ講演も実施中。

<https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/telework/>